

特集

スポーツとまちづくり

「観る・する・支える」 札幌のプロスポーツを楽しもう

平成8年から、その活躍により市民に夢を与えている「コンサドーレ札幌」と、
来年3月、本拠地を北海道に移転する「日本ハムファイターズ」。
札幌の街を拠点とする二つのプロスポーツチームの試合に、皆さんも足を運び、一緒に応援してみませんか。



北海道初のプロ野球チームが誕生
来季から札幌ドームで50試合開催

連休明けの五月六日、北海道では今季四試合目となる「日本ハムファイターズ」の公式戦が、札幌ドームで開催されました。この夜の対戦チームは、「西武ライオンズ」。

観客の八割方は、来季から「道産子チーム」となるファイターズに熱い声援を送ります。試合の方は、ライオンズが主導権を握ります。ファイターズも金子誠選手の豪快なホームランなどで反撃するものの、多くのチャンスを生かせず、この日は七対二でライオンズの勝利。ファイターズの札幌ドーム初勝利は、八月の試合まで持ち越されることとなりました。

昨年七月、プロ野球オーナー会議でファイターズの東京都から北海道へのフランチャイズ移転が正式に承認されました。「北海道初のプロ野球チームが誕生するということもあり、市民の皆さんは来年を心待ちにしていると思います。あとは、チームが成績を上げることで、移転に向けたムードを盛り上げていきたい」と語るのは、今シーズンからフ

アイターズのさい配を振るうトレイ・ヒルマン監督です。来年からは、五十試合程度の主催試合が札幌ドームで開催される予定です。ヒルマン監督に札幌の印象を尋ねると、「札幌は、自然も豊かであり、いな街。それだけでなく、住んでいる人たちが、本当に心温かいですね。移転に向けて八月には選手が家族が札幌の街を見学に来ます。もちろん、私も家族ともども札幌に移り住むつもりです」と笑顔で答えてくれました。六日の試合前には、直筆のメッセージも寄せてくれたヒルマン監督。「これからもご支援ください！」という一言に、私たちもできる限り応えていきたいものです。



トレイ・ヒルマン監督
札幌市民に向けて、「これからもご支援ください！」とのメッセージを頂きました



③

①

④

②